

「見せかけでない、愛」

コリントの信徒への手紙一 13章4～7節

聖学院中学校高等学校 副チャプレン 百武 真由美

誰だって、自分のことを大切にされたいと思っています。わざと意地悪されたいと思っている人はいないし、ひどい言葉や態度で傷つけられることは、誰だってしたくありません。仮にそれを相手に対する「愛」だと表現するなら、私たちはみんな、愛される必要がある、ということになります。そうです。私たちはみんな、愛の大切さを知っています。愛することが大切なものわかっているし、またそれ以上に、自分が周りから愛されることを必要としています。きっと私たちはみんな、誰からも愛されないままなら、それこそつらすぎて生きていくことだってしんどくなるはずですよ。

私たちは、愛の大切さを知っています。そして、私たちは今まで色々な人に愛されてきたから、今日こうして生きている。親から愛され、家族から愛され、友達から愛されてここまで生きてきました。

それでは、私たちは「愛する」ということについては、どのくらいできているのでしょうか。ちゃんと、愛せているのでしょうか。

きっと多くの方が、「自分はまあまあできている」と答えるのではないかと思います。だって親のことだってそれなりに大事にしているつもりだし、友達のことをまったく無視しているわけでもないし、仲良くして親切にしている仲間だっているんだから、自分はそれなりに愛せている、という自覚の方が、結構多いのではないかと思います。

でも、今日はあえて言おうと思います。あなたの愛は、本当の愛ですか？実は偽物の愛ではないでしょうか？

今日、私がこんな話をしようと思ったのは、ある本の中で、次のような言葉を見つけたからです。それは「本当の愛」という題名の詞の一部です。お読みしてみます。

「私は愛の大切さを知っていました。しかし悲しいことに、愛について知りませんでした。

愛と思っていた愛は、本当の愛ではありませんでした。

私が愛していたのは、ありのままの相手ではありませんでした。

私が愛していたのは、相手の人のうちにある、私にとって都合のよいところだけでした。

それは相手を愛することとは、全く違うことです。ですから、相手の欠点を受け入れることが、私にはできませんでした。」¹

耳に痛い人もきっとおられたでしょう。わたくしも、この詩を読んだときに、自分のことを言われていると思って、思わず心が痛くなり、その後目が痛くなってしまいました。私たちというよりもわたくし自身が、都合の良いところだけを受け入れて、それで相手を愛したことにしてしまっている部分があるのです。

¹ 梶日出男『心あたたまる 33 のメッセージ』いのちのことば社、2007 年、91-92 頁(抜粋)。

でもそれは、本物の愛ではありません。それは私たちが愛だと思い込んでいるけれども、その正体は私たちの「わがまま」なのです。

愛に見せかけたわがまま。これほど厄介なものはありません。なぜなら、自分ではいいことをしているつもりになっているのに、周りにとっては、迷惑な振る舞いなのです。これでは愛するどころか、相手を傷つけ、従わせ、振り回しているだけのことになってしまいます。自分の求めるがままに相手に振舞ってほしいと期待し、その通りにならない時には相手を否応なしに拒絶する在り方は、愛するということではなくて、相手を支配しようとする私たちのわがまま以外のなにものでもないのです。だから、愛が大切だとわかっている人でも、愛するということとわがままをはき違えて、間違ったことをしてしまっているのです。それがわたくしの姿であり、私たちの現実なのではないでしょうか。

聖書は言います。愛するというのは、忍耐深く、愛は情け深く、ねたまず、愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。わがままな人には、聖書に書いてあるような愛し方はできません。忍耐せず、相手をさばき、自慢し、威張り、自分が得することだけを考え、平気な顔をして相手を恨むのが、誤った愛し方です。しかし実際に私たちがやっていることです。

だとしたら、私たちは、愛することの訓練をしていかなければなりません。愛することの練習をしていかなければならないのです。

さあ、あなたは昨日、誰かに対して忍耐することができましたか。無礼なことをしませんでしたか。苛立たず、恨まずにいられましたか。ねたんだり、自慢をして誰かを困らせませんでしたか。

今日、この御言葉を心にとめましょう。神さまは、私たちに愛の大切さだけでなく、愛することがどのようなことなのか、今朝の聖書の御言葉から教えてください。問題は、私たちがこの御言葉を心に留めて、実際に実行するかどうかです。さあ、あなたは今日、実行しますか？しませんか？今日、愛することを始めようではありませんか。

祈りを捧げます。

神さま、私たちは、愛することにおいて、失敗を繰り返しています。どうぞ私たちに、愛することを教えてください。そして、愛されるだけでなく、愛する者にならせてください。主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

2015年4月28日 聖学院中学校高等学校 全校礼拝